2026年10月19日(月)
第11回（通算1778回）

持続可能な
インパクトを
生み出そう

RID2530
Rotary
Club of Fukushima
WEST

福島西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2026-27年度　会長：寺島英樹　幹事：宍戸順一　例会場：エフズサンパレス

第11回例会

ガバナー公式訪問

■開会点鐘
■国歌斉唱
■ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー　西形健吉会員
■四つのテスト唱和
宮﨑秀剛直前会長
■お客様　並びに　ビジター紹介
RI第2530地区 ガバナー　金田 昇様(白河西RC)
RI第2530地区 県北第一分区 ガバナー補佐
内藤哲太郎 様(二本松RC)
RI第2530地区 地区幹事　諸橋和典様(白河西RC)
RI第2530地区 地区代表副幹事　石川格子様(〃)
RI第2530地区 地区副幹事　阿部克弘様(〃)
RI第2530地区 地区副幹事　吉成　茂様(〃)
RI第2530地区 県北第一分区分区幹事 鈴木浩之様
(二本松RC)
RI第2530地区 県北第一分区分区幹事 渡辺 聡様(〃)
■新会員入会式
■会長挨拶　佐藤宗弘副会長
■お食事
■幹事報告
■委員会報告
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・出席・ｽﾏｲﾘﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽ小委員会報告
久米允彦会員
ロータリー財団委員会報告　高橋智弘委員長
米山記念奨学会委員会報告　黒澤信之委員長
■本日のプログラム
ガバナースピーチ
ＲＩ第2530地区ガバナー　金田昇様
■閉会点鐘



ソングリーダー
西形健吉会員



四つのテスト
宮﨑秀剛直前会長

● 新会員入会式



🔷新会員紹介　推薦者宍戸順一会員
🔷徽章・入会キット一式贈呈　佐藤宗弘副会長
🔷メンター委嘱状交付　メンター宍戸順一会員
🔷歓迎のことば　黒澤信之会員増強委員長
🔷新会員挨拶　石川美云新会員







新入会員セレモニー
RI第2530地区ガバナー　金田昇様

今年度入会者2名
・八木澤直樹会員
・石川美云会員

【幹事報告】
・当クラブの次週の例会は地区大会へ振替えとなっておりますので宜しくお願い致します
・例会終了後、本日ご参加の皆さまと集合写真を撮影致しますので、ご協力宜しくお願い致します。
その後、入会３年未満の会員の方々とガバナーとの懇談会を設けておりますのでご参加の皆さまにおかれましては宜しくお願いいたします

副会長挨拶　佐藤宗弘副会長



皆さん、こんにちは。本日は何かとご多忙の折、国際ロータリー第２５３０地区より金田ガバナー、諸橋地区幹事他３名の役員の皆さま、県北第一分区より内藤ガバナー補佐、鈴木・渡辺両分区幹事にお越しいただき、心より歓迎申し上げます。また、金田ガバナーにおかれましては会長・幹事会、クラブ協議会での親身なレクチャーをいただき、誠にありがとうございました。そして、石川美云様におかれましてはご入会おめでとうございます。金田ガバナーから「３０年は続けて」と温かいエールを送られましたが、これから多くの方々との出会い、つながり、新しい体験をしていくことと思います。クラブの一員として、より良い未来を築いていきましょう。申し遅れましたが本日は会長が病気療養中により欠席となっております。会長よりメッセージをお預かりしておりますのでご披露させていただきます。

国際ロータリー第2530地区金田ガバナー、県北第一分区内藤ガバナー補佐をはじめ、ご来訪の皆様、そして福島西ロータリークラブ会員の皆様、本日は誠にありがとうございます。
本来であれば、会長である私が皆様をお迎えし、直接ご挨拶を申し上げるべきところですが、現在受けております治療により、残念ながら本日の公式訪問例会を欠席させていただくこととなりました。金田ガバナーの公式訪問を大変楽しみに、今日まで治療を頑張ってまいりましたが、出席することができず、誠に残念であり、心よりお詫び申し上げます。
さて、私は2024～2025年度に会長を務めた際、クラブの将来を見据えた3年計画をスタートさせました。翌年度は会長エレクトとして計画の継続に携わり、そして本年度、再び会長として3年間の集大成を迎えております。本年度の会長方針は、「3 year-Rolling Goalsの集大成と継承」であります。この3年間で取り組んできたクラブの組織づくり、会員増強、会員相互の連携をさらに発展させ、次の世代へと引き継いでいくことを目標としております。
そして、私が特に大切にしている言葉があります。「一人でやらない、一人にやらせない」という言葉です。会長一人の力では、クラブを運営することはできません。役員、理事、委員長、そして会員一人ひとりが、それぞれの役割を担い、互いに協力することによって、クラブは成長していくものと考えております。今年度は、私自身が病気の治療によって長期間クラブを離れることとなり、まさにこの言葉の意味について身をもって実感しております。
佐藤副会長をはじめ、役員、理事、委員長、そして会員の皆様には、クラブ運営を支えていただき、心より感謝申し上げます。今回の経験を通して、ロータリーの仲間の存在が、私にとってどれほど大きな支えであるかを改めて感じております。そして、金田ガバナーが掲げられた「連携と連帯」という言葉の大切さを、今まで以上に強く感じております。
現在も治療を継続しており、まだ思うように活動できない状況ではありますが、会長としての責任、そして3年計画を完成させたいという思いは、何一つ変わっておりません。今は治療と回復を優先しながら、できる範囲でクラブ運営に携わり、一日も早く皆様とともにロータリー活動を再開できるよう努めてまいります。本日の公式訪問が、福島西ロータリークラブにとって、今後の活動をさらに充実させる有意義な機会となりますことを願っております。
最後になりますが、金田ガバナーには、今後とも当クラブへの温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして、会員の皆様には引き続きお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。
2026年10月19日
福島西ロータリークラブ　会長　寺島 英樹 代読
本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

世界ポリオデーに向けた推進　2026年10月5日（月）・10月19日（月）

１０月２４日の世界ポリオデーに向けて、ロータリー財団委員会を中心に国際奉仕委員会、公共イメージ委員会のご協力をいただきイベントを執り行いました。
ポリオ根絶は国際ロータリーの最優先事項であり、世界中のロータリアンが手掛けている活動です。「世界を変える行動人」である我々が目指すのは、人びとの命を奪う疾患を根絶することです。今一度その認識を共有し、入会歴の浅い方々への告知も兼ねて、例会場にてのぼり、募金箱を設置し、スタッフはポリオ根絶ベスト着用し、ポリオ・プラスの寄付を募りました。併せて米山月間に因んで米山記念奨学会への寄付も募り、寄付者については各委員会報告にてロータリー財団委員長・米山記念奨学会小委員長が披露しました。多くの寄付者に感謝申し上げます。



ロータリー財団委員会
高橋智弘委員長



米山記念奨学会委員
黒澤信之委員長


スマイルボックス
久米允彦
小委員長

●内藤哲太郎 県北第一分区ガバナー補佐
本日はガバナー公式訪問、懇談会とお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。
●寺島英樹会長
金田ガバナー・内藤ガバナー補佐、会長幹事会、クラブ協議会と長時間にわたりお疲れ様です。本日はよろしくお願いいたします。
●佐藤宗弘副会長
RID2530金田ガバナー、地区役員の皆様、県北第一分区内藤ガバナー補佐、分区幹事の皆さまのご来訪を心より歓迎申し上げます。金田ガバナー年度が素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

●宍戸順一幹事
　ガバナー、ガバナー補佐、今日はお疲れ様です。
●宮﨑秀剛会員
　金田ガバナーをはじめといたします地区役員の皆さま、ようこそ福島西RCにお越しくださいました。皆で心より歓迎いたします。
●八木澤直樹会員
　石川美云さん、ご入会おめでとうございます。
●大内重人会員
　金田ガバナー、本日はお世話になります。
●行形裕司会員
　石川さん、入会おめでとうございます。

金田昇ガバナー／大平謹一郎
久米允彦／黒澤信之／佐藤卓立
佐藤慶行／高橋智弘／西形健吉
野尻榮一

ガバナースピーチ

国際ロータリー第2530地区
ガバナー　金田 昇 様







白河だるま
Shirakawa Daruma

谷文晁作（松平定信）



ガバナー公式訪問例会卓話

RI会長メッセージとガバナー方針

RI-D2530　2026-27
DG　NOBORU KANEDA

略　歴（自己紹介）

- 昭和２７年（１９５２年）白河生まれ
- 地元小中学高等学校～東洋大学経済学部
- 昭和５５年（１９８０年）起業
  運輸倉庫業　（株）昇栄　磐梯貨物（株）
- 平成８年（1996）白河西RC入会
- 2010～2011　白河西RC会長（大橋PG）
- 2021～2022　D2530県南分区ガバナー補佐（志賀PG）
- 2026～2027　D2530ガバナー

- 大切な家族：妻・娘２婿２孫５



例会場は鏡だった！

1912年の『The National Rotarian』の中で

- 創立からまだ7年しか経っていないロータリーで
  「例会は、一流ホテルなど、品格ある場所で開くべきだ。」と書かれていた。
- **「格式を重んじていた時代だから」**でしょうか？
- そこには、**「社会から信頼される組織になるためには、例会を開く場所もその組織を映す鏡になる。」**という考え方が語られていました。
  立派なホテルで例会を開くことが目的ではなく
  その場所にふさわしい人格と品格を持った会員が集まることが大切だったのです。
- 創立期のロータリーは、娯楽を楽しむクラブではなく、地域社会から尊敬され「あの人たちなら任せられる」そう思われる集まりを目指していました。
  だからこそ、**会員の質を大切にし、例会場の品格にもこだわった**のでしょう。
- 本当に問われていたのは、「どこで例会をするか」ではなく
  「私たちは、その場所にふさわしいロータリアンであるか」ということ！

（玉井PG語録より抜粋）

例会に出席しよう！

ロータリーの友 26/09　東京クロスシティRC会長モンデベルディ氏回顧

- ロータリーとは結局のところ、素晴らしい人たちの集まりです。
- １２０年以上続いてきた理由は、権限や上下関係ではなく誠実な友情があるからです。
- 週に一度、例会に集うことは、心の健康のために、ジムに通うようなものです。仲間の顔を見ることで、私たちの社会性は磨かれ、お互いのつながりを保つことができます。良い人間関係こそが、人生に意味を与えてくれるのです。ですから、できる限り例会には顔を見せてください。

地区ガバナーの役割と任務

1・**クラブの指導と支援**
- 公式訪問を通じて活動を視察し、RI目標の達成をサポートする

2・**地区運営の統括**
- 地区大会や研修会を主催し、各種委員会を監督して円滑な運営を主導する

3・**RIとクラブの架け橋**
- 国際ロータリーの方針を伝え、クラブの意見を吸い上げるパイプ役を務める

4・**会員増強と新クラブ結成**
- 会員の増強・定着を図りながら、新しいクラブの設立を促進する

5・**財団活動の推進**
- ポリオ撲滅や補助金事業など、ロータリー財団への理解と協力を呼びかける

PRESIDENT'S MESSAGE

THE GAME CHANGER
Olayinka Hakeem Babalola
President, Rotary International



- RIオラインカ・ハキーム・ババロラ会長のメッセージ

「Create Lasting Impact」

「持続可能なインパクトを生み出そう」

- オラインカ会長は「**真のインパクトとは、一時的な成果ではなく、世代を超えて続く変化**であり、そのためには地域と共に考え行動し、**包摂的（インクルージョン）に人を迎え入れる姿勢**が不可欠なのです。ロータリーの成長は、他クラブとの競争ではなく、**過去の自分たちを超える挑戦から**生まれます」と話されました。



「自分の最高を超えよう」

ロータリーには予想外の一面があります。
向かいに座っていた見知らぬ人が、生涯の友になるなんて、本当に驚きです。
ある地域で始まった小さなプロジェクトが、思いもよらない形で広がっていくことにも驚かされます。
そして、ロータリーによって**最も大きく変わったのが、実はあなた自身だ**と気づいたとき、あなたはきっとさらに驚くことでしょう。



「クラブの最高を超えよう」

ここ数年の成果を振り返ってみてください。
そして**最も成果を上げた年度**をみつけてください。
それは新会員数が最多だった年かもしれません。
ファンドレイジングが過去最多額に達した年かもしれません。あるいは今も地域で語り継がれるプロジェクトを実施した年かもしれません。
その最高の年を見つけたら、**次はそれを超えることに挑戦していただきたい**のです。

2026-07ロータリーの友掲載（抜粋）

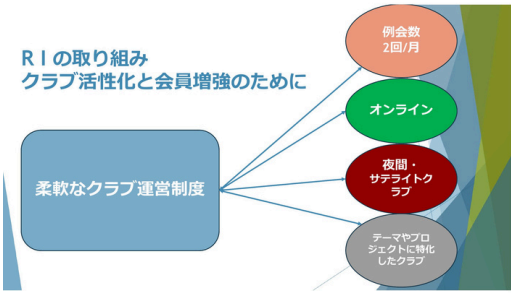


ＲＩ（国際ロータリー）の話

近年のクラブ数・会員数の推移とRIの取り組み

地域	会員数・クラブ数の傾向	主な背景
北米・西欧・日本	大幅減少～停滞 過去10年で約25～30%減少	高齢化、労働環境の変化、若者の団体離れ、高い会費負担
南アジア・東南アジア	大幅増加～堅調	経済成長、実業家層の増加、社会奉仕への高い関心
アフリカ	急成長	若年層・女性の参画拡大、地域開発ニーズの高さ

ＲＩの取り組み
クラブ活性化と会員増強のために



日本のロータリーの話

日本におけるロータリー活動

- **日本独自の課題・問題点**
- **高齢化と後継者不足：**
  - 平均年齢が60代後半になっており若手、女性の入会が進みにくい。
  - 女性会員率：世界25%　日本7%　2530地区9%
- **高い会費と敷居の高さ：** 高額な会費が、若い世代や中小企業経営者にとって負担となっている。
- **世間の低認知度：** 活動が内向き（例会や会食）で、どのような奉仕活動をしているのか外部に伝わっていない。

会員減少

日本国内における地域間格差（都市型 vs 地方型）

項目	都市型クラブ（大都市部・県庁所在地）	地方型クラブ（地方都市・郡部）
会員基盤	**大企業支店長、士業、老舗企業経営者**など	**中小企業オーナー、商店経営者、**地元名士
資金・リソース	会費・寄付金の集金力が高く、**財政的に比較的ゆとりがある**	人口減少・事業承継難の影響が直撃し、**財政的・人手負担感が重い**
課題の違い	**入退会が頻繁**、出席率維持が難しい	**後継者不在による急激な会員減少**とクラブの縮小・廃止リスク
奉仕活動の規模	**海外事業や大型のロータリー財団補助金プロジェクト**を実施しやすい	**地域密着の奉仕が強い**反面、**国際奉仕など大型事業の展開は困難**

第２５３０地区の課題

小規模クラブと分区

- ピーク時（1996年度）の**3,203**人から、現在は約**2,１００**人前後へと会員数が**約3割減少**しています。

  2026/7/01　58 クラブ　2092（196）名
- 地区内（浜通り・中通り・会津の3地域）での地域（分区）格差や相双地域での独自の問題点も重なっています。
- 会員数30名以下のクラブ24クラブ

2530地区（2026-27）の取り組み
【クラブ活性化】

- **連携と連帯で、クラブ・地区・一人ひとりに持続可能なインパクトを生み出そう！**

（全力でクラブ活性化のための支援を推進します）

「クラブ単独」からの脱却
（分区単位の活動を推進）

- **合同奉仕プロジェクトの推進：** 近隣の2～3クラブが連合して1つの大きな奉仕事業を行うことで、資金・人員の負担を分散します。
- **例会の共催・合理化：**
  - 近隣クラブとの合同例会
  - オンラインを併用したハイブリッド例会で例会運営の負担を軽減

クラブ活性化への取り組み

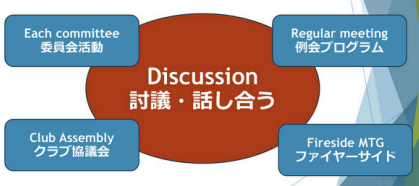
クラブの課題を探してみよう！

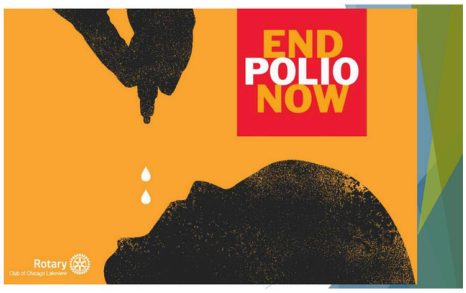
- **会員数は適切か？**
  - 年齢構成は？
  - 多様性は？（男女の比率は、老若のバランスは、外国人は・・・）
  - 職業分類は明確化されているか？未充填職業は？
- **親睦活動は適切か？**
  - 多すぎないか？少なくないか？
  - すべての会員や家族が参加できるように工夫されているか？
- **奉仕活動は？**
  - 地域のニーズに合っているか？
  - 無理な奉仕活動になっていないか？（継続事業の検証）
  - みんなが参加できるようになっているか？
- **ファンドレイジングは適切か？**
  - 財団への寄付は適切に行われているか？
  - ポリオへは？米山へは？
  - 補助金の活用を積極的に検討しているか？

クラブの課題を解決しよう！

- **会員の意見を聞いてみよう！**
  - 会員満足度アンケートなどを定期的に実施！
  - 意見交換ができる小集団活動は！（ファイアーサイドミーティングなど）
  - 新会員（3年未満）へのカウンセリングは？
- **問題・課題解決のためのディスカッションを！**
  - 理事会や役職者会合のほかにも多様な形で意見交換できるよう。
- **具体的なアクションプランを作り実施してみよう。**
  - アイディアを出し合って！（ブレインストーミング）
  - 戦略的に計画して実行し、検証して次のステップへ！
- **地区活動への参加により資質向上**
  - 各種セミナー（RLI含む）参加による知識の習得
  - 委員会や各種事業への参加によりネットワーク造りと奉仕活動の体験

クラブ活性化は全員参加のディスカッションで！





ポリオプラスへのお願い（ファンドレイジング）

- もしロータリーがポリオ撲滅のための活動をしていなかったら
  - もしこの活動が一切なかったと仮定すると、2027年7月時点においては、過去数十年間に蓄積された麻痺患者の生存者を含めると、数千万人にものぼる人々が生涯にわたる手足の麻痺などに苦しんでいたと考えられます。
- 現在、ポリオの野性株による常態的な流行は世界でごく一部の地域にとどまっており、発症数は年間で数十件程度にまで減少しています。



もし根絶できたら

- 人類が根絶した唯一のヒト感染症

  天然痘（1980）に次ぐ2つ目の偉業
- ロータリーのこの活動は歴史上最も成功した公衆衛生事業の一つとして長く評価され続けるでしょう。





Let's enjoy Rotary
together with our fellows.

仲間とともにロータリーを楽しみましょう

ご清聴ありがとうございました



【会長・幹事会、クラブ協議会、ガバナー公式訪問例会を終えて】

９時３０分からの「会長・幹事会」においては会員増強におけるヒントやクラブの広域的なつながりを持つ秘策等についてご助言をいただき、大変和やかな雰囲気の中で時間を過ごさせていただきました。その後、10時30分から「クラブ協議会」を行い、各委員会からそれぞれ活動計画を発表、都度ガバナーより活動計画についての評価や提案等、ガバナーとしての見地から様々にご助言をいただき、今後の活動の指針となるような実りあるクラブ協議会となりました。
「ガバナー公式訪問例会」においては新会員へ記憶に残るセレモニーをいただき、卓話ではロータリーの目指す方向やクラブ運営における問題課題に対する解決法について改めて確認するとともに、自分たちの活動を見つめ直す大変貴重な機会となり、ガバナーのお人柄あふれるお話しに時間はあっという間に過ぎました。
その後、入会３年未満の新会員とガバナーとの懇談会が開催され、ガバナーと新会員が直接交流することで、ロータリーファミリとしての一体感を醸成する貴重な機会となりました。金田ガバナーにおかれましては、地区内５８クラブを訪問する大変ハードなスケジュールとなっており、すぐに地区大会も控えております。多忙な日々が続きますが、お身体に十分注意をなされまして、ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。本日は誠にありがとうございました。


会長幹事会


ご来訪地区役員の皆さま


金田昇ガバナー


クラブ協議会


内藤哲太郎ガバナー補佐


ガバナー懇談会


石川美云会員・八木澤直樹会員・行形裕司会員・大内重人会員